

新型コロナウィルス...

区内保育園、女子医大でも感染... PCRセンター、発熱外来への支援を



医療従事者の新型コロナウイルス感染に関し、スタッフ・産婦人科病棟の入院患者にPCR検査を実施した結果、看護師1名、医師3名、ス

新型コロナウイルス感染拡大防止対策について(要旨)

1、荒川区区内での保育園職員感染に関わって
区内私立保育園での感染について、濃厚接触者の疑いがないとして、職員・保護者・園児のPCR検査は必要なしと判断しています。しかし医療・福祉・教育現場での感染拡大は、社会的に大きな影響をもたらします。

そのため当該保育園関係者のPCR検査の実施すること。

2、東京女子医大での医師等の感染について
区内唯一の災害拠点病院での感染の広がりを抑えるため、区としての支援を直ちに行うこと。

日々の変化、情報公開を求め共有して対応すること。
安心して検診・分娩できるよう、格段の支援を行うこと。

3、PCRセンターの設置について
新型コロナウイルスの感染者拡大を受け、東京都医師会は、感染者を早期に見出すことで、感染拡大防止を図ることを目的に「PCRセンター(仮称)」を各地に設置すると発表しました。

区内でも保育園やコンビニでの感染など考えても、荒川区で一日も早くPCR検査センターの設置が求められます。

医師会の意見を聞き、ローテーションを担う開業医への助成、マスク・消毒・防護服・非接触型体温計の準備など区の財政的な支援を具体的に明らかにし、直ちに開設準備にとりかかること。

専門家の間で指摘されている発熱外来の検討も行うこと。



感染拡大防止のため区独自の取り組み求め
共産党区議団が第三次緊急申し入れ...
区は、区内私立認可保育園1園で保育士3人が新型コロナウイルスに感染(16日、17日、21日)し、応急保育を5月6日まで中止したと発表しました。しかし、濃厚接触がないとして関係者のPCR検査を実施していません。また、東京女子医大東医療センターは、4月17日に発生した医療従事者の新型コロナウイルス感染に関し、スタッフ・産婦人科病棟の入院患者にPCR検査を実施した結果、看護師1名、医師3名、ス

女子医大東医療センターで電話診療による院外処方箋の発行開始

対象 慢性疾患等の定期受診患者
患者から初診予約センターに電話
専用電話番号 03-6807-6360
9:00-16:00 第3除く土曜 9:00-12:00
その必要事項を確認し、医師から患者へ電話 電話診療がはじまる
詳しいことは電話で問い合わせを

横山幸次

日本共産党荒川区議会議員団

区政報告
ニュース

762

2020年4月26日
発行 日本共産党区議団
3802-4627
fax 3806-9246
arajcp@tcn-catv.ne.jp

横山区議事務所
荒川区町屋5-3-5
3895-0504
Eメールアドレス
kouji.office@gmail.com

荒川区政の各種情報・
話題など...横山幸次区議
のホームページをご覧ください。

お困りごとなど、電話、ファックス、メールなどでお気軽にご相談ください。

お気軽にご相談ください
定例法律相談会

5月11日(月)
横山事務所18時~20時

生活相談は、随時受け付け
TEL&FAX 3895-0504
不在時は、留守電へ 後で連絡します。
区役所控室 3802-4627



まづの読あれこれ
今年、新型コロナウイルス感染拡大によって春の各種イベントがすべて中止になりました。尾久の原公園の「シダレザクラ祭り」も中止でした。もちろん季節の風物詩である花見、花の下での宴会もほとんど見られませんでした。そついつた意味では、戦時中と変わらない風景ではとふと思ったりもしました。しかし、現在は、日本国憲法の下、基本的な権利が保障されており、当時と全く異なっています。新型コロナウイルス感染拡大を食い止め終息させるためには、自覚した国民一人一人の取り組みと国民の負託を受けた政治の



役割が問われています。ところで自粛の中で街は静かですが、季節は確実に時を刻んでいます。尾久の原公園のシダレザクラは葉桜で緑がまぶしく、代わりに植え込みのツツジが満開です。コロナとの闘いも止念場です。(横山幸次)

荒川区のまちづくり

2020年度区(土地開発公社)の土地購入予定は都市計画道路(補助193号)はどうなる?



1、公有地取得事業			
事業名	面積(㎡)	事業費	内訳
公有地取得事業	3,500	25億6964万2千円	都市計画道路 300㎡ 密集事業道路 450㎡ 防災スポット公園等用地 1,750㎡ 施設用地 1,000㎡
合計	3,500	25億6964万2千円	
2、公有地処分事業			
事業名	面積(㎡)	事業費	内訳
公有地取得事業	4,400	26億6323万4千円	都市計画道路 670㎡ 密集事業道路 450㎡ 都市計画公園用地 1,530㎡ 防災スポット公園等用地 1,750㎡
合計	4,400	26億6323万4千円	

区が買戻す土地は約26億円超と

またこの通りの商店街の機能を

3月17日開催の荒川区土地開発公社評議員会で2020年度土地開発公社事業計画、同資金計画、予算書が報告され承認されました。地域に関わる内容を少しお知らせします。

区行政が土地を購入するためには、具体的な利用計画が必要です。将来の予測でむやみに買つことはできませんので、区が全額出資した外郭団体である土地開発公社をつかって先行取得しています(役員は区の理事者、評議員は全員区議)。

2020年度の事業計画は、約25億円超の土地購入を予定、区が買戻す土地は約26億円超と

旭の森公園
旭の森防犯通り
補助193号
補助306号
補助100号
補助96号

町屋地域は、不燃化特区とともに補助193号(旭電化通り)の拡幅整備が今後の課題です。すでに尾久の原公園から荒木田交差点間の住民との話し合いは進んでいるようです。しかしほとんど表向きの変化はありません。昨年度で区が確保している土地は200㎡位程度です。新年度は全体で300㎡ですが旭電化ほどの程度なのでしょうか。いくら防災上の事業とはいえ、生活と生業の再建がきちんとしなければ進みません。補償と一体丁寧な対応が求められます。

道路拡幅事業はしっかりと生活再建の補償と一体防災とともに商業集積などまちの賑わいの確保も課題

なっています。(左表)

4月27日(月)荒川区議会2019年度定例会の閉会会議が開かれます。

荒川区議会は通年議会のため4月末でいったん閉会するための議会です。この議会に区長提案の議案(契約金額の変更=設計労務単価の引き上げ)も提出されます。

新型コロナウイルス感染拡大の中、区議会も出席理事者も最小限にして、委員長報告も文書配布にするなど時間を短縮します。また議席も臨時に間隔をあけて対応します。



新型コロナウイルス感染対策…区政情報

保護者(保育園)の職場復帰を7月1日まで延長

現在4月入園の育児休業中の保護者の職場復帰時期については、新型コロナウイルス感染症対策のため、職場復帰日を1か月延長し、6月1日までの復帰を認めています。



新型コロナウイルス感染者が増加傾向にあることや、区内保育園等を緊急事態宣言中(5月6日まで)臨時休園していることを踏まえ、職場復帰日をさらに1か月延長し、7月1日までの職場復帰を認めことになりました。

状況の変化により変更する場合があります。

問合せ先 子ども家庭部 保育課

日曜開庁と水曜窓口時間延長について

国の緊急事態宣言発令後、窓口の水曜延長及び日曜開庁の来庁者数の減少を踏まえ...

4月26日(日)の開庁は休止

5月10日(日) 緊急事態宣言が継続した場合は休止以降、水曜延長も含め休止となります

郵送申請する際の郵送料について

郵送等でできる手続きをご利用いただくため、5月末までの期間限定で「料金受取人払」を実施します。

受取人払封筒の様式をダウンロードし、外枠に沿って切り、封筒に貼り付けていただければ、切手不要で郵送可能です。ぜひご活用ください。



今週のデータ 大学生13人に1人が退学検討 バイトも親も減収…学費に不安

学生団体「高等教育無償化プロジェクト(FREE)」のアンケート(大学生・短大生514人)で、大学生の6割がアルバイト収入が減少、親の収入減やなくなつたが4割にのぼり、13人に1人が大学を止める検討を始めています。

えないうつでは、日本に未来はありません。日本共産党は、学生への直接支援としてバイト代の8割補償、国の補てんによる授業料の全額返還、奨学金の返済猶予などを求めています。

